

令和4年度 第4回公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和5年3月10日（木） 午後2時～3時
- 2 開催場所 高洲公民館 2階 大集会室
- 3 出席者
(委員)
勝田委員長、田中副委員長、柗委員、岡本委員、大川委員、谷口委員、渡邊委員、梅本委員、阿部委員、松浦委員、林委員
(事務局)
高洲公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、高洲公民館職員2名
- 4 傍聴人 なし
- 5 議題
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（10月～12月）開催報告について
 - (2) 令和4年度 公民館学校連携事業（R4 絵画展・書初め展）開催計画及び開催結果報告
 2. 審議事項
 - (1) 公民館主催事業（4月～6月）開催計画について
 3. その他
 - (1) 令和5年度公民館当初予算概要
 - (2) 令和5年度公民館運営審議会年間予定
- 6 協議概要及び会議経過
 1. 報告事項
 - (1) 公民館主催事業（10月～12月）開催報告について
10月～12月に実施した主催事業について、質疑応答を行った。
委員からの主な意見・質問などは、以下のとおり。

(委員) コロナの中でもこんなたくさんの方の事業を行ってすごいと思う。高洲公民館の「浦っ子ミニ水族館」に539人の参加者が来ているが、何か宣伝等は

行ったのか。

(事務局) 浦っ子ミニ水族館は、浦安水辺の会に協力いただき、高洲公民館カフェやウッドデッキスペースを利用し実施した。高洲地区の小学校にチラシを配布し周知した。チラシを見た人だけでなく、普段の来館者も多く見学し、539人という大人数が集まった。

(委員) これだけ多くの人が集まり、本当に良かった。

(委員) 高洲・日の出公民館合同家庭教育学級(子育てミーティング)について、定員20名に対し、10名の参加者は少ない。何曜日に実施したのか。

(事務局) 10月の木曜日に実施した。若いお母さんの中には、自分だけで悩んでいる方が多い。お子さんが学校に行っているときに学ぶ方も多い。

(委員) 各公民館の学習コーナーについて伺いたい。子どもがはじめて公民館に行き、テスト勉強で学習室を利用した。落ち着いて学習できてよい。

(委員) 家庭教育学級であるが、高洲公民館、日の出公民館、堀江公民館、富岡公民館ともに、同じ講師が、同じ内容の講座を行っている。実際の内容はどのようなことを行うのか。

(事務局) 令和4年度は、全体で37名だった。各館でクラスを作っても、人数不足になる。7館合わせて一つの学級を作る。全体活動について4つのグループに分け、オンラインで結んで実施した。個別については各グループで、全クラスで共有し、オンラインで実施した。

(委員) コロナ患者が徐々に少なくなりつつあるが、学習室の席数は、現状どうなのか。

(事務局) 若干席の間隔にゆとりはあるが、利用できる席数についてはそのままである。

(委員) 主催事業の中には、定員以上の申し込みがあり、お断りしているものはあるのか。

(事務局) 定員以上の申し込みがある場合、特に高齢者向けの事業であるが、原則抽選を行い、参加者を確定している。

徐々に定員を増やし、コロナ前の状況に戻していきたい。

(委員) 堀江公民館のクリスマス会であるが、どのようにして定員を決め、どのような広報をしているのか。

(事務局) クリスマス会は、子供発表会と同じ日に実施した。定員については、部屋の広さをもとに決めている。広報については、特別なことをしたわけではないが、近隣のこども園や幼稚園でも同様の作品を展示し、ロコミもあり多くの参加者が集まった。

(委員) 入船小・中学校の作品はないが、どうしてなのか。

(事務局) 美浜公民館が最寄りになるので、今回の結果を踏まえ、入船地区の小中学校も参加のご協力をお願いする。

2. 審議事項

(1) 令和5年度公民館主催事業（4月～6月）開催計画について

4月から6月に開催を計画している主催事業について、各館長より説明を行った。委員からの主な意見・質問などは、以下のとおり。

- (委員) 堀江公民館の「布の絵本ボランティア体験会」について、定員が3人となっているが、そもそもの定員が非常に少ない。どうしてなのか。
- (事務局) 布絵本のボランティアは、もともと公民館で立ち上げたボランティアで引き継いで行っている事業である。現在、会員が3名のため、マンツーマンで行うことから最大3人となっている。新規会員の募集を行ったが、なかなか入ってこないのが現状である。
- (委員) 定員を4人にして、間口を広げてもよいと思う。
- (事務局) 特に3名とする必要もないので、定員は削除する。
- (委員) 美浜地区みはまいききサロンであるが、美浜地区限定なのか。
- (事務局) 美浜公民館のいきいきサロンについては、美浜地区を中心に活動している。浦安市社会福祉協議会東1支部が協力団体となっている。
- (事務局) 社会福祉協議会の支部は地域の課題に対して活動しており、東1支部は美浜なので、美浜地区の課題を中心に扱っている。それぞれ地区の課題をあげながら活動している。入船の海浜支部は美浜公民館に近いので、東1支部で行うこととなった。
- (委員) 家庭教育学級であるが、家庭教育学級の取り組みがすばらしいので、5、6年前から参加している。令和5年度も、公民館が主体となって、継続されるのか。令和4年度の取り組みを見ると、講座がメインで、ディスカッションを少ないので人が集まらない。私が、家庭教育学級がなぜ好きかというと、いろんな年代の子どもをお持ちのお母さんと年間を通じて、出会えるので、すごくよい時間を過ごすことができる。
- (委員) 今のご意見を参考にして、プログラムを考えたり、ディスカッションしたり、少人数でもオンラインも取り入れ、みんなが様々な方法で意見交換できればよい。
- (委員) 私たちの団体では、年に数回、幼稚園に行き、昔遊びの手伝いをしている。子どもから元気をもらい、楽しい時間を過ごせている。
- (事務局) 美浜公民館では、美浜マーブル広場が未就学児とシニアの交流の場となっている。高齢者が小さいお子さんと触れ合うことができ、親子とシニアの交流の場となっている。
- (委員) 10月～12月の実績を見て、高齢者の参加は安定しているが、今回の計画を見て、楽しそうで、参加したいと感じる事業がたくさんあるが、告知しないと参加者は集まらない。高洲公民館と日の出公民館は、リツイートしているが、他の公民館は記事が載っていない。館長が、ツイートするだけ

でも、すごくアピールになる。そんなに難しいことではないので、Twitterなども活用し、参加人数を増やして欲しい。

(事務局) 頑張ってやっています。あまり、得意な方ではないので、まずは館長が勉強し、実践していきます。

(委員) 私自身SNSが苦手なので、あまり見ていないが、人数を増やせるのであれば、実践いただきたい。県民の日の富岡ふれあい祭りについて、シニアの方との世代間交流はいいが、小学生や幼稚園のお母さんたちが見るので、児童育成クラブと連携して、SNS等を通じて情報発信すればよい。参加したかったのに、情報が届いていない方もいるので、掘り起こしの1つとして、SNS等を活用してほしい。

(委員) 公民館共通事業のチャレンジド・スポーツについて伺いたい。対象が、年齢不問で、ただし、保護者同伴と書いてある。障がいのある方の基準が様々なので、保護者が参加できない場合もあるので、1人で参加可能としてもよいのではないか。

(事務局) 保護者同伴とした理由であるが、障がいのある方が、ケガなく安全にスポーツが楽しめるようということで、保護者同伴としたところである

3. その他

(1) 令和5年度公民館当初予算概要

(2) 令和5年度公民館運営審議会年間予定

上記内容について、事務局より説明した。
委員からの質疑応答はなかった。

以上で令和4年度 第4回浦安市公民館運営審議会は閉会した。